PART2 南アジア・東南アジアの変化

Chapter1　南アジアの植民地化

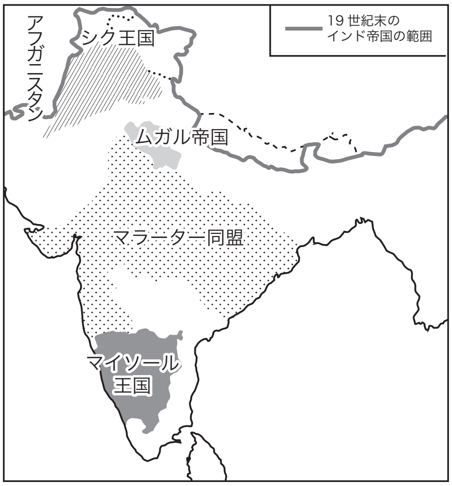
目標
インド大反乱が起こった最大の背景を理解しよう。
インドの統治主体の変遷を知ろう。

1　インドの植民地化

インドでヨーロッパ勢力が扱った主力商品は〔　　　　〕で，その購入のため金・銀を大量に，〔　　　　　〕**帝国**に持ち込んだことで，農産物の現物分配が経済の基本だったインド社会に，大きな変化をもたらした。

①〔　　　　　　　〕**東インド会社**→マドラスや**カルカッタ**などに商館を置く
フランスを２度破り，1763年にはパリ条約を締結し勢力を確定。
A　**カーナティック戦争**（1744～61年）→インド南部
B　〔　　　　　　　　　〕**の戦い**（1757年）→ベンガル地方

②インド植民地化の完成
19世紀半ばまでに，イギリス東インド会社がインド全域を制圧し植民地化を完成。
※支配地域の一部を藩王国として外交権を奪う形で間接統治。他の地域は直接統治。
A　東部
→ベンガル・ビハール両地域の徴税権を獲得（1765年）
B　南部
→４次にわたるマイソール戦争に勝利（1767～99年）
C　西部
→３次にわたるマラーター戦争に勝利（1775～1818年）
D　西北部
→２次にわたるシク戦争に勝利（1845～49年）



植民地支配前の有力なインド勢力と，イギリスの植民地支配の範囲

③東インド会社による地税の徴収方法

制度の変更や高率の現金税導入によりインド経済は大混乱。

A　ザミンダーリー制→仲介者に私的土地所有権を与える

B　ライヤットワーリー制→仲介者を排除して農民の土地保有権を与える

④イギリス製綿糸・綿布の大量流入→**インドの伝統的な手工業による綿織物業を破壊**

インドは綿花・藍などの原材料を輸出し，イギリスから工業製品を大量に輸入する立場へと転落。

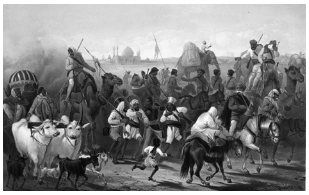
⑤イギリス本国の東インド会社締め付け→東インド会社は統治者へと変貌

A　特許状改定でインドとの貿易独占廃止（1813年）

B　さらなる特許状改定で茶の取引と中国貿易の独占権廃止（1833年）

C　商業活動そのものが停止される（1834年）

2　インド大反乱とインド帝国の成立



シパーヒーの乱

①**東インド会社の傭兵**〔　　　　　　　　　　　〕による**インド大反乱**（1857～59年）

北インド中心に広範囲で発生。背景には西欧キリスト教式の植民地支配への反感があった。伝統社会を破壊された，**ヒンドゥー教徒・イスラーム教徒**のインド人が反乱。

②**ムガル帝国の滅亡**（1858年）

③**東インド会社の解散**（1858年）→イギリス本国がインド統治に乗り出す

A　本国にはインド省と担当大臣を設置

B　インドではイギリス人の総督と参事会が政庁を統轄

ヴィクトリア女王

④〔　　　　　　　　　　　〕**女王**が**インド皇帝**に即位（1877年）

総督が副王を兼任する〔　　　　　　　　　　　〕が成立（1877～1947年）

⑤インド大反乱の反省から「分割統治」へと転換

官吏や弁護士などのインド人エリートも登場

まとめ

東インド会社によるインドの伝統社会の破壊が，インド大反乱の背景。

インドはムガル帝国→イギリス東インド会社→イギリス女王が皇帝となったインド帝国へと統治主体が移動した。

Chapter2　東南アジアの植民地化

目標
東南アジアの地域と，そこに進出した国の組み合わせを知ろう。
東南アジア地域で唯一植民地化を回避した国と，その理由を知ろう。

1　東南アジア各地の植民地化

①**ジャワ→**〔　　　　　　　　〕が進出し**バタヴィア**に政庁を置く

A　18世紀半ばにオランダがマタラム王国を滅ぼす

B　イギリス＝オランダ協定（1824年）

イギリスがマラッカ海峡以北をオランダがインドネシアを領有

C　ジャワ戦争を鎮圧（1825～30年）**→オランダ領東インド〔蘭印〕**

東インド総督が戦後に〔　　　　　　　　　　　　〕を導入

※コーヒー・サトウキビ・藍などで莫大な利益をあげる。

②**マレー半島・北ボルネオ・ビルマ→**〔　　　　　　　　〕が進出

A　マレー半島の**ペナン・マラッカ・シンガポール**を**海峡植民地**とする（1826年）

B　**マレー連合州**を結成させ北ボルネオを併せる（1895年）

中国・インドからの移民を使いプランテーション〔大農園〕で**錫・ゴム**の生産を拡大

C　３次にわたる**ビルマ戦争**に勝利（1824～86年）

コンバウン朝（1752～1885年）を滅ぼしビルマをインド帝国に併合

③**フィリピン→**〔　　　　　　　　〕が進出

A　住民をカトリックに強制改宗

B　〔　　　　　　〕を正式に開港（1834年）→フィリピンが世界市場に組み込まれる

私企業のプランテーション〔大農園〕におけるサトウキビ・マニラ麻・タバコなどの商品作物生産が広がる

④**ベトナム・カンボジア・ラオス→**〔　　　　　　　　〕が進出

A　西山の乱が起こり南北統一が図られる（1771年）

B　**阮福暎**が西山政権を倒しベトナムを統一し〔　　　　〕を建てる（1802～1945年）

〔　　　　　　　　〕**人宣教師ピニョー**が本国から連れてきた義勇兵が活躍

※タイ・ラオスなどの援助も受けた。

C　阮福暎が清により**越南国〔阮朝〕**の国王に封ぜられる（1804年）

ユエを首都に清の制度を導入して行政制度を整備

D　仏越戦争（1858～62年）

　サイゴン条約を結びフランスが進出

E　フランスが南部を襲う（1867年，その後も領土拡大をはかる）

　劉永福が〔　　　　　　〕を組織して北部を根拠地に抵抗（1873～85年）

F　フランスが北部・中部に進出し支配下に置く（1883年，ユエ条約）

　清はベトナムへの宗主権を主張して派兵

G　〔　　　　〕戦争（1884～85年）

　フランスが清に勝利し**天津条約**でベトナムを保護国化する

H　**フランス領インドシナ連邦〔仏印〕**の成立（1887年）

　1863年以来保護国としていた〔　　　　　　　　　〕と併せる

　※ 1899年には**ラオス**も編入した。

2　タイ〔シャム〕の情勢

東南アジア地域で，**タイ〔シャム〕**のみはヨーロッパ勢力からの**独立を維持**した。

①**ラタナコーシン朝**〔チャクリ朝〕の創始（1782年）

バンコクに首都を置き，現在の王家につながる。

②**ラーマ４世**がヨーロッパ諸国に対する閉鎖的な政策を転換

　イギリスとのボーリング条約（1855年）などで自由貿易の原則が確認されると，次々に列強と外交関係が結ばれた。

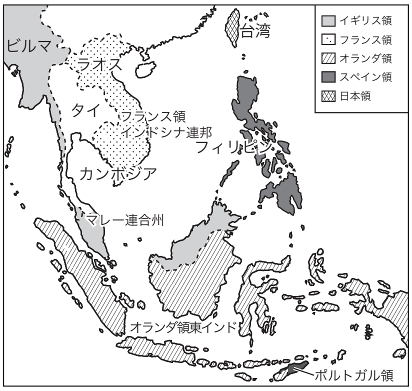
※その結果，**米**の商品化が進み，デルタ地帯の水田開発が進んだ。

チュラロンコン王

③**ラーマ５世**

〔　　　　　　　　　　　　〕が英仏の勢力均衡策を巧みに利用

　外国留学の奨励や外国人専門家を招き**近代化に成功**し植民地化を回避。また，近隣の植民地を視察して見聞を広め，近代的な統治機構を確立した（＝**チャクリ改革**）。



東南アジアの植民地化

まとめ
オランダがインドネシア，スペインがフィリピンに進出した。
タイのチュラロンコン王が，近代化政策に成功し独立を維持した。

第３講　PART2　確認問題

1　1744年にインド南部で起こり，イギリスがフランスに勝利した戦いを何というか。

①　マイソール戦争　②　カーナティック戦争
③　マラーター戦争　④　プラッシーの戦い

2　東インド会社による地税の徴収方法の一つで，仲介者に私的土地所有権を与える方法を何というか。

①　ディーワーニー　②　シオニズム
③　ザミンダーリー制　④　ライヤットワーリー制

3　インド大反乱を起こした東インド会社の傭兵を何というか。

①　シパーヒー　②　ワッハーブ
③　ディーワーニー　④　クライヴ

4　1877年にインド皇帝に即位した人物はだれか。

①　ジョージ３世　②　エリザベス１世
③　ヴィクトリア女王　④　ナポレオン３世

5　インドネシアのジャワに進出した国はどこか。

①　イギリス　②　フランス
③　スペイン　④　オランダ

6 イギリスがビルマ戦争で破った王朝を何というか。

① アユタヤ朝　② コンバウン朝
③ タウングー朝　④ ラタナコーシン朝

7 スペインが進出した国はどこか。

① カンボジア　② 北ボルネオ
③ フィリピン　④ インドネシア

8 フランス人宣教師ピニョーなどの援助を受けて，ベトナムを統一した人物はだれか。

① 李鴻章　② 林則徐
③ 阮福暎　④ 劉永福

9 清仏戦争の講和条約を何というか。

① 天津条約　② 北京条約
③ 南京条約　④ 望厦条約

10 タイのラーマ５世と関連のあるものはどれか。

① ボーリング条約締結　② サイゴン条約締結
③ 強制栽培制度導入　④ チャクリ改革実行

第 3 講　PART2　確認問題 解答

1 解答：②

カーナティック戦争に続いてプラッシーの戦いで勝利したイギリスは，インドにおける覇権を確立させた。

①：1767 ～ 99 年の，イギリスとマイソール王国との 4 次にわたる戦い。
③：1775 ～ 1818 年の，イギリスとマラーター同盟との 3 次にわたる戦い。
④：1757 年にベンガル地方で起こった，イギリスがフランスに勝利した戦い。

2 解答：③

ザミンダーリー制やライヤットワーリー制，現金税の導入により，インド経済は大混乱した。

①：ベンガルなどでイギリス東インド会社が獲得した徴税権のこと。
②：19 世紀末に始められたユダヤ人国家建設運動。
④：東インド会社による地税の徴収方法の一つで，仲介者を排除して農民に土地保有権を与える方法。

3 解答：①

シパーヒーは，ヒンドゥー教徒・イスラーム教徒などのインド人からなる。

②：18 世紀にアラビア半島で起こったイスラーム教改革派（運動）。
③：ベンガルなどでイギリス東インド会社が獲得した徴税権のこと。
④：プラッシーの戦いで勝利したイギリス東インド会社軍の司令官。

4 解答：③　ヴィクトリア女王は，インドをはじめとする広大な海外植民地を支配した。

①：産業革命のころのイギリス国王。
②：16 世紀後半のイギリス女王。
④：1852 年に即位したフランスの皇帝。

5 解答：④　オランダはバタヴィアに政庁を設置した。

①：マレー半島・北ボルネオ・ビルマに進出した。
②：ベトナム・カンボジア・ラオスに進出した。
③：フィリピンに進出した。

6 解答：②　コンバウン朝を滅ぼしたイギリスは，ビルマをインド帝国に併合した。

①：14 世紀に建てられた，タイ最初の統一王朝。
③：コンバウン朝の前，16 世紀に成立したビルマの王朝。
④：1782 年に建てられた，タイの王朝。現在の王家につながる。

7 解答：③　スペインは，1834 年にマニラを正式に開港した。

①：フランスが進出した。
②：イギリスが進出した。
④：オランダが進出した。

8 解答：③　阮福暎は西山政権を倒してベトナムを統一し，阮朝を建てた。

①：清の政治家で，太平天国の乱を鎮圧した。
②：清の高官で，アヘン密輸の取り締まりを強化した。
④：黒旗軍を組織してフランス軍に抵抗した。

9 **解答：①**

清仏戦争ではフランスが清に勝利し，天津条約でベトナムを保護国化した。

②：1860 年，清がイギリス・フランスと結んだ条約。
③：1842 年，清がイギリスと結んだ，アヘン戦争の講和条約。
④：1844 年，清がアメリカと結んだ条約。

10 **解答：④**

ラーマ５世〔チュラロンコン〕は近代化に成功して植民地化を回避し，近代的な統治機構を確立した。

①：ラーマ４世が締結した。
②：フランスとベトナムが締結した。
③：オランダの東インド総督が導入した。